

2025年4月16日
IPUT-Osaka

技術英語

第2回 分類と物質、ミーティング①

工科学部 情報工学科
相澤 将徒

配布資料とMP3

1. 本スライド資料（ワークシート含む、配布版）
2. MP3（Unit1-1）

LMSの第2回講義からダウンロードしてお使いください

本日の内容

1. 授業の趣旨と到達目標の確認

2. 分類と物質（テキストp6-7）

- 分類の意義や重要性
- 分類に関する表現

3. ミーティング①（参考書p18-21）

- オンボードミーティングでの説明ポイント
- よく使われる表現

4. まとめ

授業の趣旨

この授業では、技術者やビジネスパーソンに必要な分類と物質およびオンボードミーティングで必要な英語表現を習得することを目的にしています

到達目標

- 分類を表現する要素を理解し、英作文することができる
- オンボードミーティングでの説明のポイントを理解し、英語にて口頭で伝えることができる

本日の内容

1. 到達目標の確認

2. 分類と物質（テキストp6-7）

- 分類の意義や重要性
- 分類に関する表現

3. ミーティング①（参考書p18-21）

- オンボードミーティングでの説明ポイント
- よく使われる表現

4. まとめ

最近の話題



“ I am a **tariff** man. ”

Tariff:

New York Times 誌より抜粋

国ごとに分類された相互関税率 (Reciprocal Tariff)

Japan	24%	Cambodia	49%
China	145%	Vietnam	46%
EU	20%	Thailand	36%
Taiwan	32%	Malaysia	24%
India	26%	Switzerland	31%
South Korea	25%	UK	10%

分類することの重要性

分類とは、物事や情報を基準や共通点に基づいてグループ化すること。分類することによって複雑な事象を整理し、分かりやすくする。技術者やビジネスマンにとっては重要なスキル

例)

組織の分類 (IPUT-Osakaは、ITとDE学科に分類)

研究分野の分類 (自然科学、工学、社会科学など)

事業分野の分類 (サービス、製造、教育など)

個人ワーク①

音声を聞いてP6のIntroductionを聞いて空欄を埋めてください

あとで、皆さんに答えを聞きます

ペアワーク

二人一組で穴埋めと1～3の答えを話してください。
(10分間)

その後、皆さんに答えを聞きます

Introductionの解答

The early stages of scientific research involve making observations and gathering information. (1), merely collecting facts is not enough. The scientist needs to arrange and classify the facts and to find (2) among them.

The word classification comes from the word class - meaning a group of things that all have one important element in (3). Scientists group related information into an array. Chemists, for example, cannot study every (4), but can make generalizations by arranging all the elements into groups with related (5). (6), if iodine is identified as belonging to the same group as chlorine and bromine, its properties can be predicted. Similarly, since there are several million kinds of plants and animals on earth, it is clearly (7) to study each one. However, by classifying an animal as a member of a particular group, or species, a biologist can (8) its characteristics. Classification is thus very basic to scientific (9) and (10).

ワンポイント①

- HoweverとButの用法

Howeverは文頭に使えるが、Butはダメ

例) I wanted to go out. However, it started raining.

I wanted to go out, but it started raining.

問題1～3の解答

1. Classificationの語源は何ですか
2. なぜ分類することが科学で大切なのですか
3. 分類することによって、例えば生物学者は何をすることができますか

日本語訳

Vocabulary(ご参考)

 はIntroductionで空欄にあった単語

scientific research	科学研究	chlorine	塩素
observation	観察	impossible	
gather	集める	however	しかしながら
merely	単なる	In common	関連する、共通する
arrange	整理する	 	このようにして
classify	分類する	particular group	特定のグループ
relationship		biologist	生物学者
classification	分類	predict	予測する
group A into array	Aをグループ化して整理する	characteristics	特徴
related properties	関係する性質	species	種
 	要素、元素	thought	考え
iodine	ヨウ素	expression	表現
bromine	臭素	property	

内容の解説(ご参考)

13	14	15	16	17
5B ホウ素	6C 炭素	7N 窒素	8O 酸素	9F フッ素
13Al アルミニウム	14Si ケイ素	15P リン	16S 硫黄	17Cl 塩素
31Ga ガリウム	32Ge ゲルマニウム	33As ヒ素	34Se セレン	35Br 臭素
49In インジウム	50Sn スズ	51Sb アンチモン	52Te テルル	53I ヨウ素
81Tl タリウム	82Pb 鉛	83Bi ビスマス	84Po ポロニウム	85At アスタチン
113Nh ニホニウム	114Fl フレロム	115Mc モスコビウム	116Lv リバモロウム	117Ts テネシン

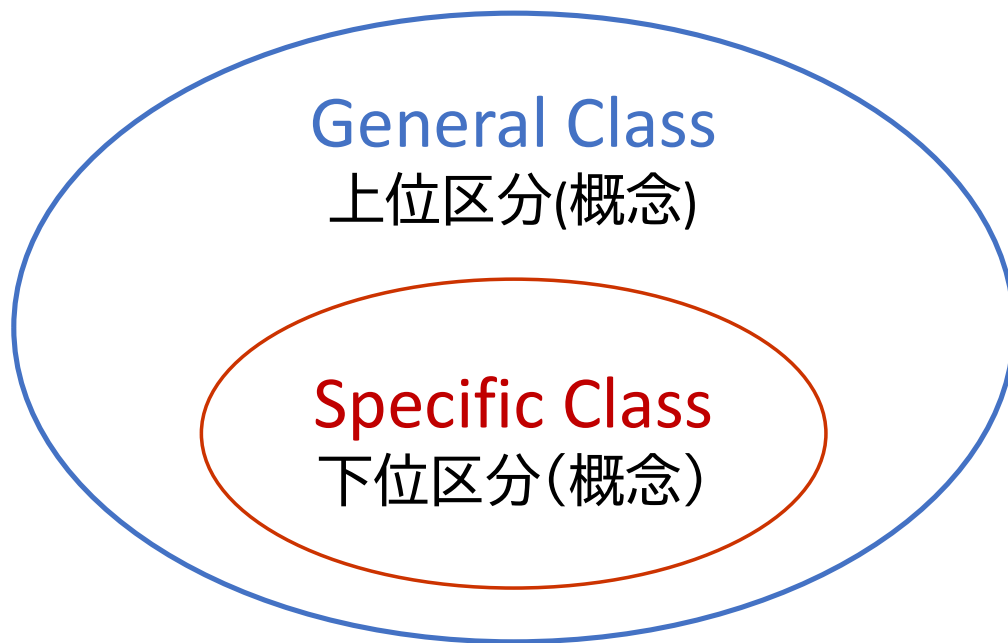
以下の三元素は第17族に分類されており化学的性質は似ている

Chlorine: 塩素(消毒液)

Bromine: 臭素(難燃剤)

Iodine: ヨウ素(うがい液)

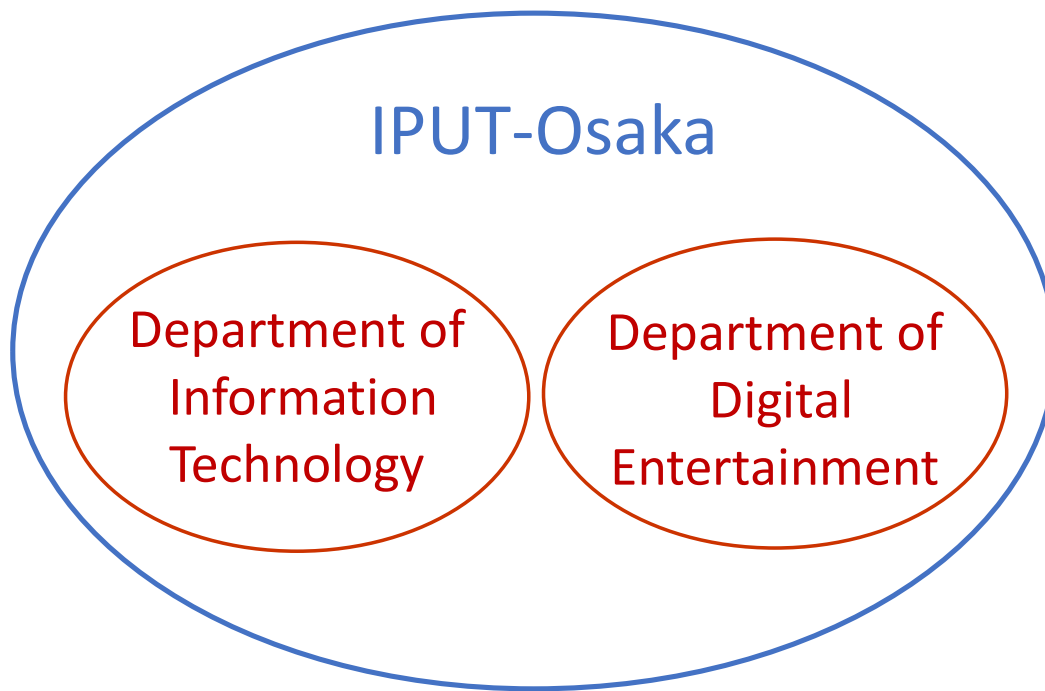
分類を表現する要素



分類をするためには、
General Class(上位区分)
Specific Class(下位区分)
Basis for Classification
(分類の根拠)が必要

Specific Classは、General Class
に含有される

学内の分類



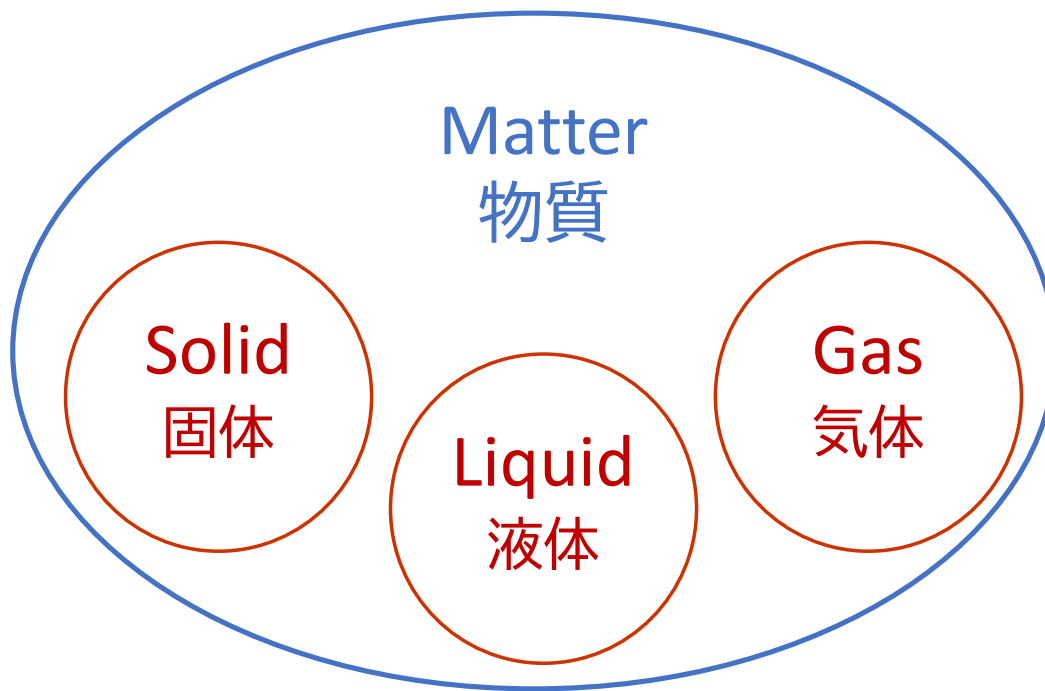
青字:上位区分
赤字:下位区分

IPUT-Osaka is divided into the Department of **Information Technology** and the Department of **Digital Entertainment**.

IPUT-Osakaは、IT学科とDE学科に分類される

専門(Expertise)が分類の根拠

物質の分類



青字:上位区分
赤字:下位区分

☆Matter is categorized as **solid, liquid, and gas**.

物質は、固体、液体、そして気体に分類される

☆Solid is an example of **matter**.

固体は物質の一種である

☆は特に重要な表現

ワンポイント②

① 受動態

Be + 動詞(i)ed、～される

例) is categorized 分類される (categorize=分類する)

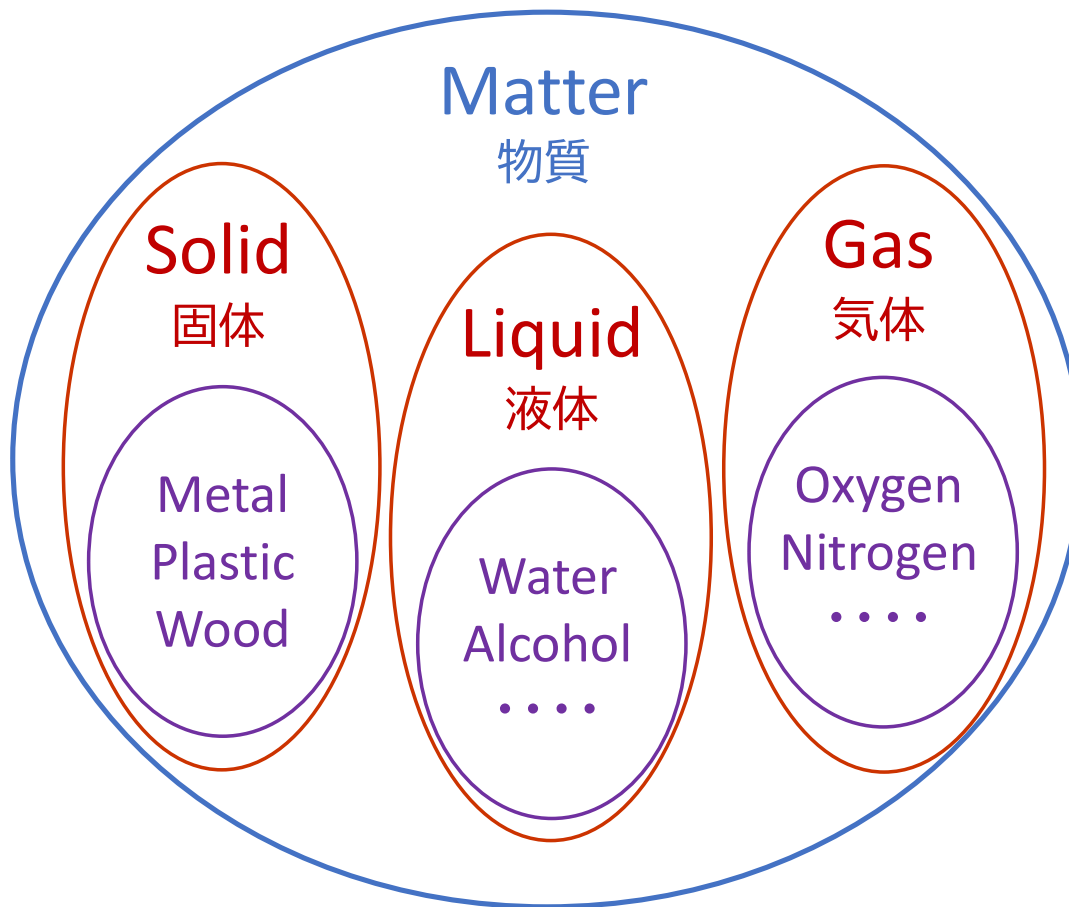
② andの使い方

2つのものをつなぐとき A and B

3つ以上の場合 A, B, and C

例) solid, liquid, and gas

固体の分類



Solid is categorized as metal, plastic, and wood.

固体は、金属、プラスチック、そして木材に分類される

Metal is an example of solid.

金属は固体の一例である

個人ワーク②

機械学習は主に、教師あり学習、教師なし学習、強化学習に分類されます。前頁を参考にして、これらの分類を図示した上で英文を2つ表現してください。(個人ワーク、5分間)

あとで、皆さんに答えを聞きます。

ヒント

機械学習: Machine Learning
教師あり学習: Supervised Learning
教師なし学習: Unsupervised Learning
強化学習: Reinforcement Learning

機械学習の分類

Machine Learnign

Supervised Learning

Logistic regression

SVM

k-nearest neighbor algorithm

decision tree

Unsupervised Learning

clustering

GAN

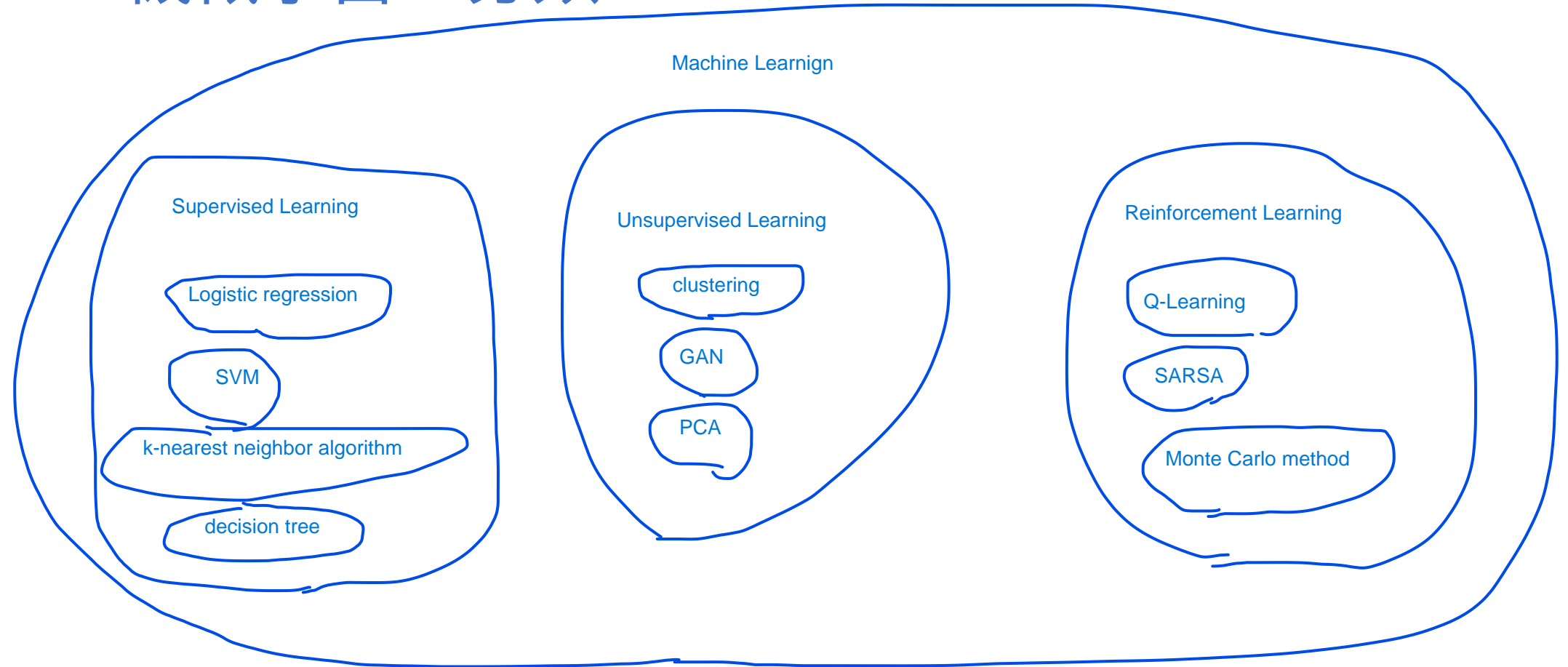
PCA

Reinforcement Learning

Q-Learning

SARSA

Monte Carlo method



休憩

オンライン会議ツールの世界シェア1位は **zoom**

創業者 Eric Yan



<https://techblitz.com/startup-interview/zoom-ceo/>

- 中国出身のアメリカ人
- 渡米当時は、英語がほとんどしゃべれず
- 学生時代の彼女との遠距離恋愛が発想の原点
- コロナ禍の1年間で、利用者が1000万人から3億人に急増

本日の内容

1. 到達目標の確認

2. 分類と物質（テキストp6-7）

- 分類の意義や重要性
- 分類に関する表現

3. ミーティング①

- オンボードミーティングでの説明ポイント
- よく使われる表現

4. まとめ

Onboard Meeting

- ・オンボードミーティングとは、新入社員や新メンバーをプロジェクトに迎え入れる会議や講習会や勉強会
- ・目的は、リーダーが新しいメンバーにプロジェクトの概要や役割を説明すること



説明ポイント

①プロジェクトの概要説明

これがプロジェクトの全体像です。

☆ This is **an overview** of the project.

新方針の概要を説明します。

新方針

Let me give you an overview of the new policy.

問題)「いまからAIプロジェクトの全体像をお話します」を
英訳してください(個人ワーク、1分)

ワンポイント③

Let me 動詞 私に～させる

例) Please let me know.
私に知らせて下さい。

Please let me know if you are available.
あなたの都合が良いか教えてください。

②計画と目標の明確化

オンラインストアを再設計するプロジェクトに取り組みます。

☆We are working on a project to redesign the online store.

学生たちが英語を学ぶことを支援するアプリを開発します。

We are developing an app to help students learn English.

アプリ

問題)「子供向けのゲームアプリを開発します。」を英訳してください(個人ワーク、1分)

ワンポイント④

① app (アプリ)

例) App Ride
ライドシェアサービスのこと。

② help 人 動詞 人が～するのを手伝う(助ける)

例) I helped my brother cook dinner.
私は弟が夕食を作るのを手伝った。

③スケジュールと時間軸の説明

あと10日営業日でウェブサイトを開発します。

☆ We have ten business days to develop the website.

このプログラムを完成するまでに数日かかります。

It takes a few days to complete the program.

～を完成する

問題)「締め切り(deadline)まで1週間です」を英訳してください(個人ワーク、1分)

④役割と責任の明確化

あなたのチームが、この地域のすべてのプロジェクトを担当しています。

地域

☆ Your team is in charge of all the projects in the region.

あなたのチームは、そのアプリケーションをテストすることに責任があります。

Your team is responsible for testing the application.

問題)「私は、ソフトウェア開発を担当しています」を英訳してください(個人ワーク、1分)

本日の内容

1. 到達目標の確認

2. 分類と物質（テキストp6-7）

- 分類の意義や重要性
- 分類に関する表現

3. ミーティング①（参考書p18-21）

- オンボードミーティングでの説明ポイント
- よく使われる表現

4. まとめ

まとめ

1. 分類を表現する要素を理解し、英作文することができる

- Solid is **categorized as** metal, plastic, and wood.
- Metal is **an example of** solid.

2. オンボードミーティングでの説明のポイントを理解し、英語にて口頭で伝えることができる

- This is **an overview of** the project.
- We **are working on** a project to redesign the online store.
- We **have ten business days** to develop the website..
- Your team is **in charge of** all the projects in the region.

終わりに

- 問題の解答などが付いた投影版の資料は、授業後にLMSに置きますので、復習にご活用ください
- ミニットペーパーの提出をお願いします。日本語なら200字程度、英語なら100文字程度でお願いします
(〆切:4/21(月))